

日本体育協会

総合型地域スポーツクラブ公式メールマガジン

特集

スポーツ少年団と連携しているクラブ

山辺の里スポーツクラブ ～仲間と一緒にいい汗いい笑顔～



キーポイント

- 既存のスポーツ少年団(以下、少年団)がクラブに加入
- 事務局機能が整備されたクラブが、少年団の各種手続きを行う
- クラブ加入後、少年団間でのスポーツ交流が促進される

1 クラブの概要

「山辺の里スポーツクラブ(以下、クラブ)」(山形県山辺町)は、平成12年頃に起きた市町村合併問題を契機に、合併後の町のスポーツ振興などについて有志が話し合う「総合型地域スポーツクラブを考える会」、そして「山辺の里スポーツクラブ設立準備委員会」を経て、平成17年3月に設立されました。

クラブの理念として、(1)「生涯にわたって誰もが気軽にスポーツに親しむことができるようにする」(2)「会員の健全な心身を育成する」(3)「元気で健康な連帯感あふれる『山辺のまちづくり』に貢献する」という3つの柱を立てています。

活動はスクール部門(少年団11単位団の活動)、イベント部門(スポーツ教室や研修会など14種目開催)があり、町体育施設、学校体育施設、町公民館施設などの会場で展開されています。

2 地域で活発な既存の少年団がクラブに加入

山辺町では、以前より町体育協会や町レクリエーション協会、少年団が活動しています。「教育」や「地域コミュニティ」に関心が強い土地柄から、特に少年団活動が盛んであり、多くの町民がその活動に協力的です。しかし、各団体の連携は十分とはいえない状況でした。

クラブでは、創設準備段階から町内の全単位団がクラブに加入していただくことを目指し、何度も少年団指導者や保護者に対して理解や協力を求めました。しかし、少年団には登録料制度が存在する一方で、クラブへの加入には別途クラブ会費を支払う必要があり、ご加入いただくには大変苦労しました。

それでも少年団がクラブに加入してもらったポイントとして、クラブの運営委員である長岡さんは「直接何度も会って、話し合いを持ったことが良かった」と語っています。また、少年団側からすれば、登録手続きやスポーツ安全保険などの事務が大変であることや、少子化が進む中でスポーツの苦手な子どもたちの取り込みに苦労していたことも、クラブに加入していただくキッカケとなりました。

3 少年団がクラブに加入した後の効果

クラブに少年団が加入した後、事務局機能が整備されているクラブ側が団員募集、登録手続き、スポーツ安全保険手続きを担当することになりました。また、クラブが、少年団指導者研修会や体力テストの開催などクラブ加入

少年団が一堂に会する機会を作りました。

その結果、少年団員や指導者は他の少年団活動やクラブ教室への参加ができるようになり、他の小学校区の団員やその保護者と知り合うキッカケや、多様なスポーツ活動を経験できるキッカケとなりました。

4 今後の展望

クラブの今後の展望について、クラブ事務局長である岡崎さんは「スクール部門ではこれまでのスポーツ少年団活動を継続しながら、多様なスポーツ体験ができるイベントを開催して、子ども達の会員を拡大したい。またイベント部門では、教室間のクラブ会員や他クラブとの交流の機会を充実させ、更にクラブを発展させていきたい」と語っていました。

(公益財団法人山形県体育協会クラブアドバイザー 海老名清二)



クラブプロフィール

設立年月日：平成17年3月26日

地域：山形県山辺町全地域

運営：会員数 400名(平成24年度実績)

予算規模 約500万円(平成25年度)

特徴：住民が主体となって設立し、少年団事業を中心に広く町民を対象とした教室型イベントプログラムを行っているクラブである。また、クラブは町からスポーツ振興基金やスポーツ教室委託事業を受け、行政とは独立しながらも堅い連携により運営されている。

連絡先：山形県山辺町緑ヶ丘1 山辺町民総合体育館内

TEL：023-664-7263 FAX：023-664-7256

E-mail：yamanobenosato@nifty.com

クラブHP：<http://homepage2.nifty.com/yamanobenosato/>